

クルマ問題と交通政策に関する政党アンケート結果について

クルマ社会を問い直す会では、総選挙にあわせて政党に政策を問うアンケートを実施し、民主、公明、共産、社民、国民新党の主要5政党から回答をいただきました。その結果を本日発表いたしましたので、ご案内いたします。

私どもクルマ社会を問い直す会は、「クルマ優先でなく人優先の社会へ」を合い言葉に、1995年の発足以来、調査研究や勉強会、会報発行などを続け、その成果を踏まえて関係各位への問題提起や政策提言などを積み重ねてきた、全国に約250名の仲間を擁する市民団体です。

「クルマ社会」と呼ばれる昨今、私たちはやもすれば当たり前のように自動車を使う生活を続けてきた感があります。政策的にクルマを安く便利にし続けてきた半面、歩く・自転車や鉄道・バスなどの公共交通を利用する人は二の次にされ、国内だけでも毎年何十万人もの人々を殺傷し続ける**交通事故**、大気汚染や騒音などの公害に加え地球温暖化など深刻さを増す**環境問題**、昨年の石油価格上昇など**エネルギー問題**、**地域公共交通機関の縮小・廃止**による生活基盤の崩壊といった諸問題を悪化させてきました。

このような諸問題を踏まえ、欧米主要国や近隣諸国などではクルマに依存せず人と環境にやさしい生活を目指す機運が高まり、クルマの過度な利用を控え他の交通手段への転換をすすめる政策が展開されていますが、そうした世界情勢に比して対策が立ち遅れている日本国内では、各政党が現状をどう把握し、今後の政策展開をどう描いているのか。全17項目にわたるアンケートを実施し、その結果を当会ホームページを通じて広く皆さんにお知らせいたします。

<http://toinaosu.org/sosenkyo09/>

(この概要を右枠内に示すとともに、集計結果の単回答部分のみを別紙に添付しております。)

身近な交通環境を安全・安心なものにするために、道路・警察・産業・エネルギー政策を握る政府の果たす役割は大きいものがあります。その**政策を選ぶのは私たちの一票です**。今回のアンケート結果が、安全・安心・快適で人と環境にやさしい交通手段の充足を望む皆さんの関心を高め、政策選択のお役に立てることを願っております。

回答あり：民主党、公明党、
共産党、社民党、
国民新党

検討中：新党日本

無回答：自民党、改革クラブ

設問分野：

- 1.歩行者・自転車利用者の安全・安心
- 2.環境・公害・エネルギー問題の改善
- 3.公共交通・自転車利用環境の充実
- 4.総合的な交通政策

結果概要：

- 生活道路や通学路などでの歩行者等の安全確保の必要性を認識
- ドライブレコーダーの普及や歩車分離を進める具体策に理解
- クルマ中心のまちづくり・都市計画を転換し、旅客・貨物ともにクルマ以外の交通手段への転換を進める方向で一致
- LRTの活用、路線バスの充足など、地域公共交通の維持・再生を進めることで一致
- 自転車走行空間の確保の必要性で一致
- PM2.5への環境基準設定に前向き
- 総合交通政策や「交通権」の確立が必要との認識で一致
- 自動車税制の在り方、自動車の外部費用課税に関する見解に相違
- 現政府の「高速値下げ」「エコカー減免税・補助金」政策には評価が分かれる

以上

クルマ社会を問い直す会 代表 杉田 正明

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂2-19 銀鈴会館506 生活思想社内

[URL] <http://toinaosu.org/> [E-mail] kstn@red.zero.jp [FAX] 03-5261-5931 (担当：井坂)

分類	項目 \ 政党	民主党	公明党	共産党	社民党	国民新党
1 歩行者・自転車利用者の安全・安心	1 通学路の安全確保 施策を行うことに ○=賛成 ×=反対		○	○	○	○
	2 生活道路の交通規制の在り方見直し 繁華街・住宅街の30km/h以下への制限に ○=賛成 ×=反対		○	○	○	×
	3 ドライブレコーダーの普及 具体策が ○=ある ×=ない		○	○	○	○
	4 ITS等による安全対策 具体策が ○=ある ×=ない		○	○	○	○
	5 交通事故対策 具体策が ○=ある ×=ない		○	○	○	○
2 環境・公害・エネルギー問題の改善	1 クルマ以外の交通手段への転換促進策 具体策が ○=ある ×=ない	○	○	○	○	○
	2 貨物輸送のモーダルシフト 具体策が ○=ある ×=ない	○		○	○	○
	3 クルマの総量を減らすための施策 具体策が ○=ある ×=ない		○	○	○	○
	4 PM2.5（微小粒子状物質）への環境基準の設定 環境基準設定に ○=賛成 ×=反対	○		○	○	○
	5 自動車諸税を自動車の外部費用課税と位置付けること ○=賛成 ×=反対			○	○	×
	6 環境・エネルギー対策 具体策が ○=ある ×=ない		○	○	○	○
3 公共交通・自転車利用環境	1 地方鉄道や路線バスの再生 具体策が ○=ある ×=ない	○	○	○	○	○
	2 LRT・BRT・コミュニティ交通の導入促進 具体策が ○=ある ×=ない	○	○	○	○	○
	3 自転車の適切な活用 具体策が ○=ある ×=ない	○	○	○	○	○
4 総合的な交通政策	1 交通権 法整備が 必要 / 不要	必要	必要	必要	必要	必要
	2 「高速値下げ」への評価 総合的な交通政策の観点からの評価 良い / 悪い	悪い	良い	悪い	悪い	良い
	3 マイカー優遇策（「エコカー」減免税、補助金）への評価 総合的な交通政策の観点からの評価 良い / 悪い		良い	悪い	悪い	良い

※単回答は2択、自由回答（別紙）には関連するコメントを記入。